

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年9月4日まで（2016年11月16日設定）	
運用方針	新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドにおいて、債券等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

新興国通貨建て 世界銀行債券オープン

第6期（決算日：2018年6月6日）

第7期（決算日：2018年9月6日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「新興国通貨建て世界銀行債券オープン」は、去る9月6日に第7期の決算を行いましたので、法令に基づいて第6期～第7期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債券 組入 比率	債券 先物 比率	純資 産総 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円		%	%	百万円
2016年11月16日	10,000		—	—	—	—	7,558
1期(2017年3月6日)	11,114		150	12.6	91.0	—	8,698
2期(2017年6月6日)	10,918		150	△ 0.4	93.4	—	7,614
3期(2017年9月6日)	10,858		150	0.8	92.2	—	4,636
4期(2017年12月6日)	10,821		150	1.0	84.5	—	3,689
5期(2018年3月6日)	10,324		150	△ 3.2	87.0	—	2,842
6期(2018年6月6日)	9,890		150	△ 2.8	92.4	—	2,091
7期(2018年9月6日)	9,378		150	△ 3.7	94.0	—	1,347

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	率		
第 6 期	(期 首) 2018年 3 月 6 日	円 10,324	% —	% 87.0	% —
	3 月 末	10,408	0.8	94.3	—
	4 月 末	10,307	△0.2	93.0	—
	5 月 末	9,977	△3.4	87.2	—
	(期 末) 2018年 6 月 6 日	10,040	△2.8	92.4	—
第 7 期	(期 首) 2018年 6 月 6 日	9,890	—	92.4	—
	6 月 末	9,877	△0.1	93.3	—
	7 月 末	10,217	3.3	92.3	—
	8 月 末	9,594	△3.0	91.8	—
	(期 末) 2018年 9 月 6 日	9,528	△3.7	94.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

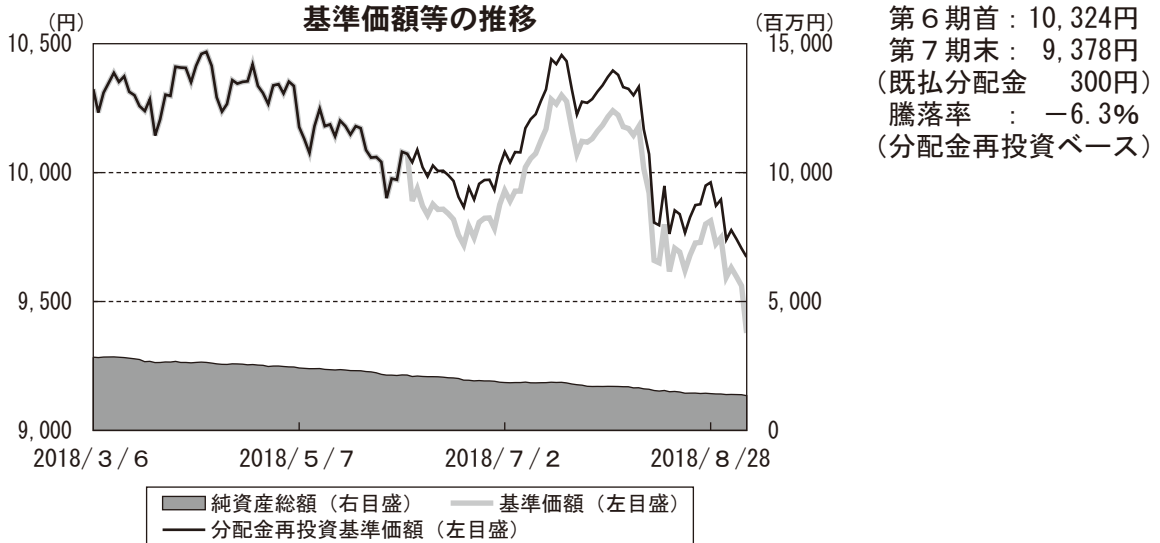
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第6期～第7期：2018/3/7～2018/9/6)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.3% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収入を獲得したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ロシアルーブルやトルコリラが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第6期～第7期：2018/3/7～2018/9/6)

◎債券市況

- ・ 当作成期においては、新興国債券市況を主要新興国の2年国債金利で見ると、米国の貿易政策に対する懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、金利は概ね上昇しました。
- ・ トルコでは、インフレ懸念が高まったことなどが影響し、金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・ 当作成期においては、新興国通貨は、米国の貿易政策に対する懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、対円で概ね下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<新興国通貨建て世界銀行債券オープン>

- ・ 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。

<新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ5.8%の下落となりました。

- ・ 世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・ 通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーションなどを総合的に勘案して行いました。
- ・ 当作成期は利回り水準が高く、バリュエーション面等で魅力があると考えたコロンビアペソ建て債券やロシアルーブル建て債券の組入比率を高めました。
- ・ 前記の運用を行った結果、債券の利子収入を獲得したことなどがプラスに寄与したものの、ロシアルーブルやトルコリラが対円で下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

(ご参考)

利回り・デュレーション (平均回収期間や金利感応度)・平均残存期間

作成期首 (2018年3月6日)

作成期末 (2018年9月6日)

最終利回り	6.6%	最終利回り	7.3%
直接利回り	6.1%	直接利回り	6.8%
デュレーション	0.9年	デュレーション	1.0年
平均残存年数	1.0年	平均残存年数	1.1年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。
- ・平均残存年数は、各債券の残存年数を債券の額面で加重平均したものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額 (翌期に繰越す分配原資) がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益 (留保益) につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期	第7期
	2018年3月7日~2018年6月6日	2018年6月7日~2018年9月6日
当期分配金	150	150
(対基準価額比率)	1.494%	1.574%
当期の収益	135	135
当期の収益以外	14	14
翌期繰越分配対象額	1,026	1,012

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

<新興国通貨建て世界銀行債券オープン>

◎今後の運用方針

- ・新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドへの投資を通じて、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れ、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行います。

<新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・新興国のファンダメンタルズの改善と相対的に高い経済成長が見込まれることや、国際商品価格が底堅く推移していること、世界的にインフレ圧力が抑制されていることなどを背景に、新興国債券市場に対するポジティブな見通しを維持します。ただし、米国の貿易政策が投資家心理に与える影響などについては注意が必要と考えます。

◎今後の運用方針

- ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月7日～2018年9月6日)

項 目	第6期～第7期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(39)	(0.387)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.018	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	71	0.703	
作成期中の平均基準価額は、10,074円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月7日～2018年9月6日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第6期～第7期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 1,215,280	千円 1,353,600

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月7日～2018年9月6日)

利害関係人との取引状況

＜新興国通貨建て世界銀行債券オープン＞

該当事項はございません。

＜新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド＞

区 分	第6期～第7期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,443	百万円 —	% —	百万円 2,784	百万円 183	% 6.6

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2018年9月6日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第5期末	第7期末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千口 2,465,789	千口 1,250,509	千円 1,331,917

○投資信託財産の構成

(2018年9月6日現在)

項 目	第7期末	
	評 価 額	比 率
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド	千円 1,331,917	% 96.0
コール・ローン等、その他	55,493	4.0
投資信託財産総額	1,387,410	100.0

(注) 新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(1,322,330千円)の投資信託財産総額(1,331,887千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=111.26円	1メキシコペソ=5.75円	1ブラジルリアル=26.83円	100コロンビアペソ=3.59円
1トルコリラ=16.88円	1ロシアルーブル=1.63円	1インドルピー=1.56円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第6期末	第7期末
	2018年6月6日現在	2018年9月6日現在
	円	円
(A) 資産	2,154,287,055	1,387,410,265
コール・ローン等	86,304,822	55,492,983
新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド(評価額)	2,067,982,233	1,331,917,282
(B) 負債	62,315,448	40,076,655
未払収益分配金	31,728,598	21,550,327
未払解約金	22,057,350	12,597,738
未払信託報酬	8,502,593	5,909,949
未払利息	197	86
その他未払費用	26,710	18,555
(C) 純資産総額(A-B)	2,091,971,607	1,347,333,610
元本	2,115,239,875	1,436,688,530
次期繰越損益金	△ 23,268,268	△ 89,354,920
(D) 受益権総口数	2,115,239,875口	1,436,688,530口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,890円	9,378円

○損益の状況

項 目	第6期	第7期
	2018年3月7日～ 2018年6月6日	2018年6月7日～ 2018年9月6日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 11,164	△ 7,903
受取利息	141	34
支払利息	△ 11,305	△ 7,937
(B) 有価証券売買損益	△ 51,466,468	△ 46,063,869
売買益	6,837,324	11,949,391
売買損	△ 58,303,792	△ 58,013,260
(C) 信託報酬等	△ 8,529,303	△ 5,928,504
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 60,006,935	△ 52,000,276
(E) 前期繰越損益金	4,558,694	△ 58,984,366
(F) 追加信託差損益金	63,908,571	43,180,049
(配当等相当額)	(49,183,289)	(33,871,376)
(売買損益相当額)	(14,725,282)	(9,308,673)
(G) 計(D+E+F)	8,460,330	△ 67,804,593
(H) 収益分配金	△ 31,728,598	△ 21,550,327
次期繰越損益金(G+H)	△ 23,268,268	△ 89,354,920
追加信託差損益金	63,908,571	43,180,049
(配当等相当額)	(49,224,840)	(33,906,308)
(売買損益相当額)	(14,683,731)	(9,273,741)
分配準備積立金	167,971,421	111,548,735
繰越損益金	△255,148,260	△244,083,704

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首（前作成期末）元本額 2,752,981,565円

 作成期中追加設定元本額 17,112,041円

 作成期中一部解約元本額 1,333,405,076円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9378円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は89,354,920円です。

③分配金の計算過程

項 目	2018年3月7日～ 2018年6月6日	2018年6月7日～ 2018年9月6日
費用控除後の配当等収益額	28,566,773円	19,448,600円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	49,224,840円	33,906,308円
分配準備積立金額	171,133,246円	113,650,462円
当ファンドの分配対象収益額	248,924,859円	167,005,370円
1万口当たり収益分配対象額	1,176円	1,162円
1万口当たり分配金額	150円	150円
収益分配金金額	31,728,598円	21,550,327円

④「新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の35以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第6期	第7期
1万口当たり分配金（税込み）	150円	150円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド

《第4期》決算日2018年9月6日

〔計算期間：2018年3月7日～2018年9月6日〕

「新興国通貨建て世界銀行債券マザーファンド」は、9月6日に第4期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券に投資を行います。 債券等への投資にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等を総合的に勘案して選定を行います。 投資する債券の残存期間は3年未満とします。 債券等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用指図に関する権限を委託します。 債券等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 中		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 総 資 産 額
		騰 落	率			
(設定日)	円		%	%	%	百万円
2016年11月16日	10,000	—	—	—	—	7,400
1期(2017年3月6日)	11,350		13.5	92.7	—	8,535
2期(2017年9月6日)	11,485		1.2	93.6	—	4,565
3期(2018年3月6日)	11,306	△	1.6	88.7	—	2,787
4期(2018年9月6日)	10,651	△	5.8	95.1	—	1,331

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)		円		%			%
	2018年3月6日		11,306		—	88.7		—
	3月末		11,412		0.9	96.2		—
	4月末		11,312		0.1	94.5		—
	5月末		10,954		△3.1	90.1		—
	6月末		11,024		△2.5	95.2		—
	7月末		11,425		1.1	93.7		—
	8月末		10,725		△5.1	95.2		—
	(期 末)							
	2018年9月6日		10,651		△5.8	95.1		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.8%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎債券市況

- ・当期においては、新興国債券市況を主要新興国の2年国債金利で見ると、米国の貿易政策に対する懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、金利は概ね上昇しました。
- ・トルコでは、インフレ懸念が高まったことなどが影響し、金利は上昇しました。

◎為替市況

- ・当期においては、新興国通貨は、米国の貿易政策に対する懸念が高まり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、対円で概ね下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、通貨のバリュエーションなどを総合的に勘案して行いました。
- ・当期は利回り水準が高く、バリュエーション面等で魅力があると考えられるコロンビアペソ建て債

券やロシアルーブル建て債券の組入比率を高め
としました。

- ・前記の運用を行った結果、債券の利子収入を
獲得したことなどがプラスに寄与したものの、ロ
シアルーブルやトルコリラが対円で下落したこ
となどがマイナスに影響し、基準価額は下落し
ました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・新興国のファンダメンタルズの改善と相対的に
高い経済成長が見込まれることや、国際商品価
格が底堅く推移していること、世界的にインフ
レ圧力が抑制されていることなどを背景に、新
興国債券市場に対するポジティブな見通しを維
持します。ただし、米国の貿易政策が投資家心
理に与える影響などについては注意が必要と考
えます。

◎今後の運用方針

- ・通貨配分や銘柄選択にあたっては、利回り水準
を重視しつつ、各国経済のファンダメンタルズ、
通貨のバリュエーション、流動性、分散効果等
を総合的に勘案して行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年3月7日～2018年9月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 2 (2)	% 0.016 (0.016)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、11,157円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年3月7日～2018年9月6日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 6,233	千メキシコペソ 49,589 (12,723)
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルレアル 2,208	千ブラジルレアル -
	コロンビア	特殊債券	千コロンビアペソ -	千コロンビアペソ 2,562,826
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 2,149	千トルコリラ 3,947 (5,450)
	ロシア	特殊債券	千ロシアルーブル -	千ロシアルーブル 98,721
	インド	特殊債券	千インドルピー -	千インドルピー 195,621 (19,350)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月7日～2018年9月6日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	1,443	—	—	2,784	183	6.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2018年9月6日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 55,900	千メキシコペソ 54,842	千円 315,346	% 23.7	% —	% —	% —	% 23.7
ブラジル	千ブラジルリアル 2,200	千ブラジルリアル 2,178	58,451	4.4	—	—	—	4.4
コロンビア	千コロンビアペソ 8,880,000	千コロンビアペソ 8,952,176	321,383	24.1	—	—	—	24.1
トルコ	千トルコリラ 2,750	千トルコリラ 2,253	38,031	2.9	—	—	—	2.9
ロシア	千ロシアルーブル 189,500	千ロシアルーブル 193,211	314,934	23.6	—	—	—	23.6
インド	千インドルピー 143,600	千インドルピー 139,829	218,134	16.4	—	—	—	16.4
合 計	—	—	1,266,281	95.1	—	—	—	95.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ	特殊債券	5.25 IBRD 191017	5.25	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
		7.5 IBRD 200305	7.5	29,900	29,091	167,276	2019/10/17
				26,000	25,751	148,070	2020/3/5
小	計					315,346	
ブラジル				千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	特殊債券	7.36 IBRD (GL) 191113	7.36	2,200	2,178	58,451	2019/11/13
小	計					58,451	
コロンビア				千コロンビアペソ	千コロンビアペソ		
	特殊債券	4.25 IBRD (GL) 190620	4.25	6,630,000	6,599,621	236,926	2019/6/20
		8 IBRD (GL) 200302	8.0	2,250,000	2,352,555	84,456	2020/3/2
小	計					321,383	
トルコ				千トルコリラ	千トルコリラ		
	特殊債券	10 IBRD 200316	10.0	2,750	2,253	38,031	2020/3/16
小	計					38,031	
ロシア				千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	特殊債券	10 IBRD 190916	10.0	43,000	44,464	72,477	2019/9/16
		10.3 IBRD (GL) 190305	10.3	146,500	148,746	242,456	2019/3/5
小	計					314,934	
インド				千インドルピー	千インドルピー		
	特殊債券	5.75 IBRD (GL) 191028	5.75	48,450	47,619	74,286	2019/10/28
		5.75 IBRD (GL) 200508	5.75	95,150	92,209	143,847	2020/5/8
小	計					218,134	
合	計					1,266,281	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2018年9月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,266,281	% 95.1
コール・ローン等、その他	65,606	4.9
投資信託財産総額	1,331,887	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,322,330千円) の投資信託財産総額 (1,331,887千円) に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.26円	1 メキシコペソ=5.75円	1 ブラジルレアル=26.83円	100 コロンビアペソ=3.59円
1 トルコリラ=16.88円	1 ロシアルーブル=1.63円	1 インドルピー=1.56円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年9月6日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,331,887,111
コール・ローン等	17,314,144
公社債(評価額)	1,266,281,940
未収利息	44,818,763
前払費用	3,472,264
(B) 負債	14
未払利息	14
(C) 純資産総額(A-B)	1,331,887,097
元本	1,250,509,138
次期繰越損益金	81,377,959
(D) 受益権総口数	1,250,509,138口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,651円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,465,789,362円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 1,215,280,224円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0651円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 新興国通貨建て世界銀行債券オープン 1,250,509,138円

○損益の状況 (2018年3月7日～2018年9月6日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	66,043,601
受取利息	66,048,812
支払利息	△ 5,211
(B) 有価証券売買損益	△168,033,313
売買益	27,824,129
売買損	△195,857,442
(C) 保管費用等	△ 332,543
(D) 当期損益金(A+B+C)	△102,322,255
(E) 前期繰越損益金	322,019,990
(F) 解約差損益金	△138,319,776
(G) 計(D+E+F)	81,377,959
次期繰越損益金(G)	81,377,959

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。